

低圧進相コンデンサによる火災にご注意を！！

当消防本部管内において、低圧進相コンデンサが原因の火災が過去5年以内に数件発生しています。

低圧進相コンデンサは、200Vの業務用冷蔵庫やモーターを使用する電気機器として、物品販売店及び作業場などに設置されています。

低圧進相コンデンサからの火災は、梅雨の季節から暑さが続く9月にかけて多く発生しています。この季節は気温が高いことから、コンデンサ本体の温度もさらに上昇、また、永年使用による絶縁劣化が進み発熱し、出火に至っています。

数十年前に製造されたコンデンサは、保安装置が内蔵されていない製品もあり、出火による被害が拡大する危険性があります。

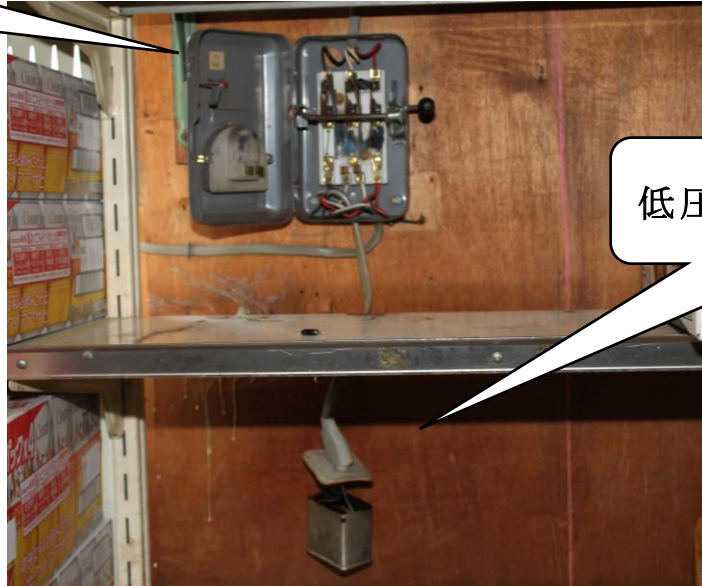
10年以上経過した製品は、専門業者による点検を受け、計画的に取替えるようお願いいたします。

詳しくは、一般社団法人日本電機工業会のホームページをご覧ください。

[一般社団法人日本電機工業会（長年ご使用の「低圧進相コンデンサ」は発火の危険性があります）](#)

配電盤

配電盤及びコンデンサ



低圧進相コンデンサ

既製の低圧進相コンデンサ



膨張破裂したコンデンサ